



あさひな グループ

あさひな株式会社・株式会社ダイゴ・株式会社伸孝

対象期間 : 2024年2月 ~ 2025年1月

作成日 2025年4月20日

《 目 次 》

1. 組織の概要	1
(1) 事業所名及び代表者名	1
(2) 所在地	1
(3) 環境管理責任者氏名及び事務局	1
(4) 担当者連絡先	1
(5) 事業活動の内容	1
(6) 事業の規模	1
(7) 認証・登録範囲	2
(8) 推進組織図	3
2. 環境経営方針	4
3. 環境経営目標	5
4. 環境活動計画	6
5. 実績と評価	7
(1) 実績	7
(2) 評価	8
6. 実績結果の経年変化	9
7. その他の取組結果(太陽光発電量)	10
8. 次年度の環境経営計画	11
9. 環境関連法規等の遵守状況並びに違反、訴訟の有	12
10. 代表者による全体評価と見直し	13

1. 組織の概要

あさひな株式会社、株式会社伸孝及び株式会社ダイゴの3社は、グループ企業として密接に結びつき、地域産業と共に発展しております。ヤマハ発動機株式会社構内においては、その製造ラインの一翼を担う、あさひな株式会社(梱包部門)、株式会社伸孝(配送事業部)及びそれぞれの事務部門は既にヤマハ発動機株式会社のISO14001への取組に参画しております。これら組織以外の、グループ本社・あさひな株式会社(部品事業部、木材事業部)株式会社ダイゴ(金属加工事業部)、株式会社伸孝(ボート事業部、環境景観事業部)において、「エコアクション21」環境経営システムへの取組を致しております。

(1) 事業所名及び代表者名 あさひな株式会社・株式会社ダイゴ・株式会社伸孝

代表取締役 朝比奈 尚希

(2) 所在地 〒437-0225
静岡県周智郡森町谷中599

(3) 環境管理責任者氏名 環境管理責任者 (株)伸孝 部長 今田 優
及び環境管理担当者 環境管理担当者 あさひな(株) 課長 鈴木 晃彦
環境管理担当者 (株)ダイゴ 班長 村松 亨
環境管理担当者 (株)伸孝 部長 今田 優

(4) 事務局担当者連絡先 総務課 萩原 直己

Tel 0538-36-1138
Fax 0538-36-1136
E-mail ij-sinko@za.tnc.ne.jp

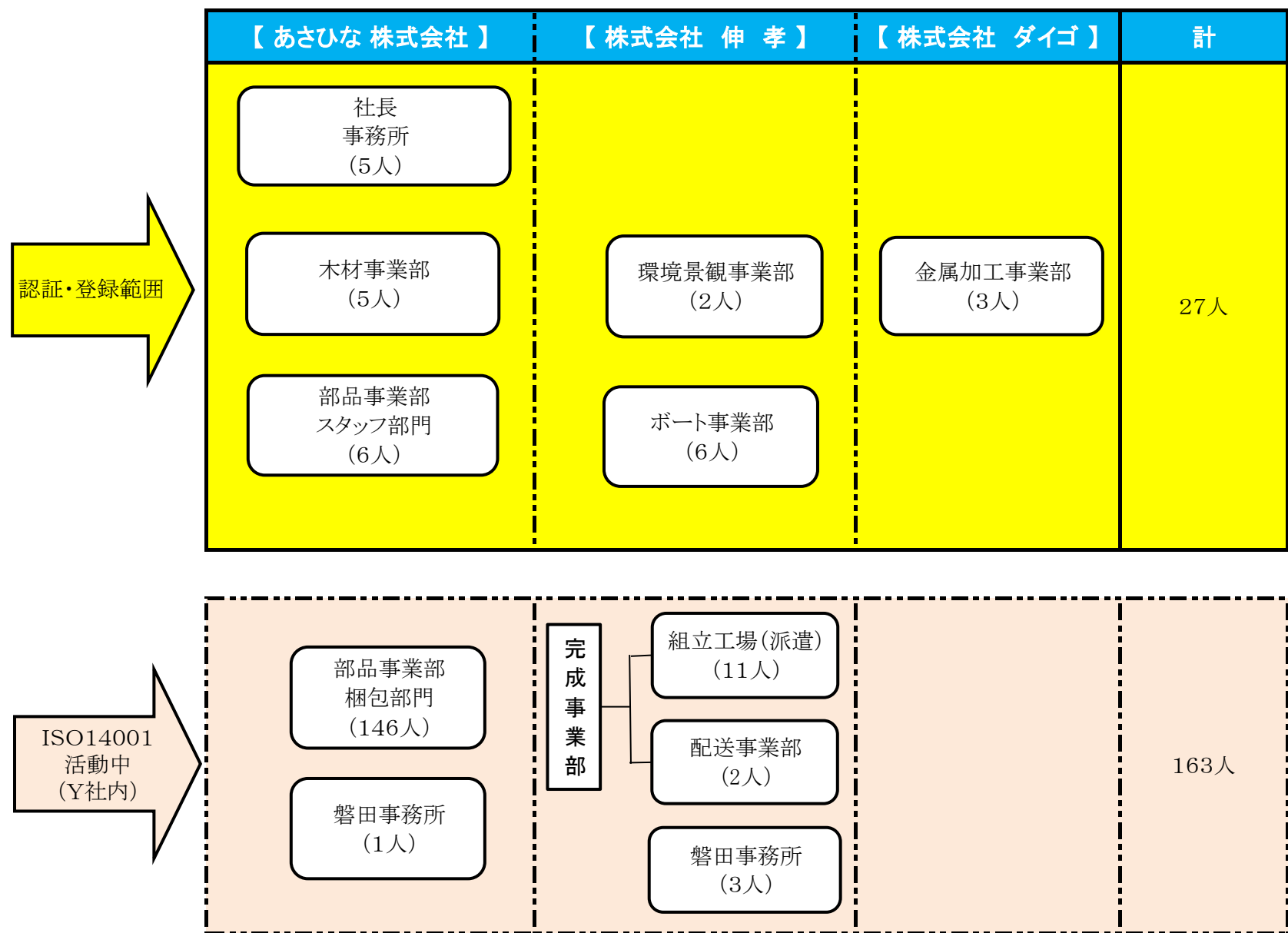
(5) 事業活動の内容 輸送用機器部品の金属加工・梱包資材の加工・販売、ボートのセッティング・マリン製品の仕様変更及びアフターサービス、FRPプール・土木資材・遊具の販売施工及び保守管理、太陽光発電事業

(6) 事業の規模

各年度:2月1日～1月31日

活動規模	単位		2022年度	2023年度	2024年度
売上高	百万円	あさひな(株)	211	136	185
		(株)伸孝	276	231	213
		(株)ダイゴ	168	161	124
		合 計	655	528	522
従業員	人	あさひな(株)	17	16	16
		(株)伸孝	9	8	8
		(株)ダイゴ	7	3	3
		合 計	33	27	27
床面積	㎡	あさひな(株)	945	945	945
		(株)伸孝	743	743	743
		(株)ダイゴ	1172	1172	1172
		合 計	2,860	2,860	2,860

(7) 認証・登録範囲

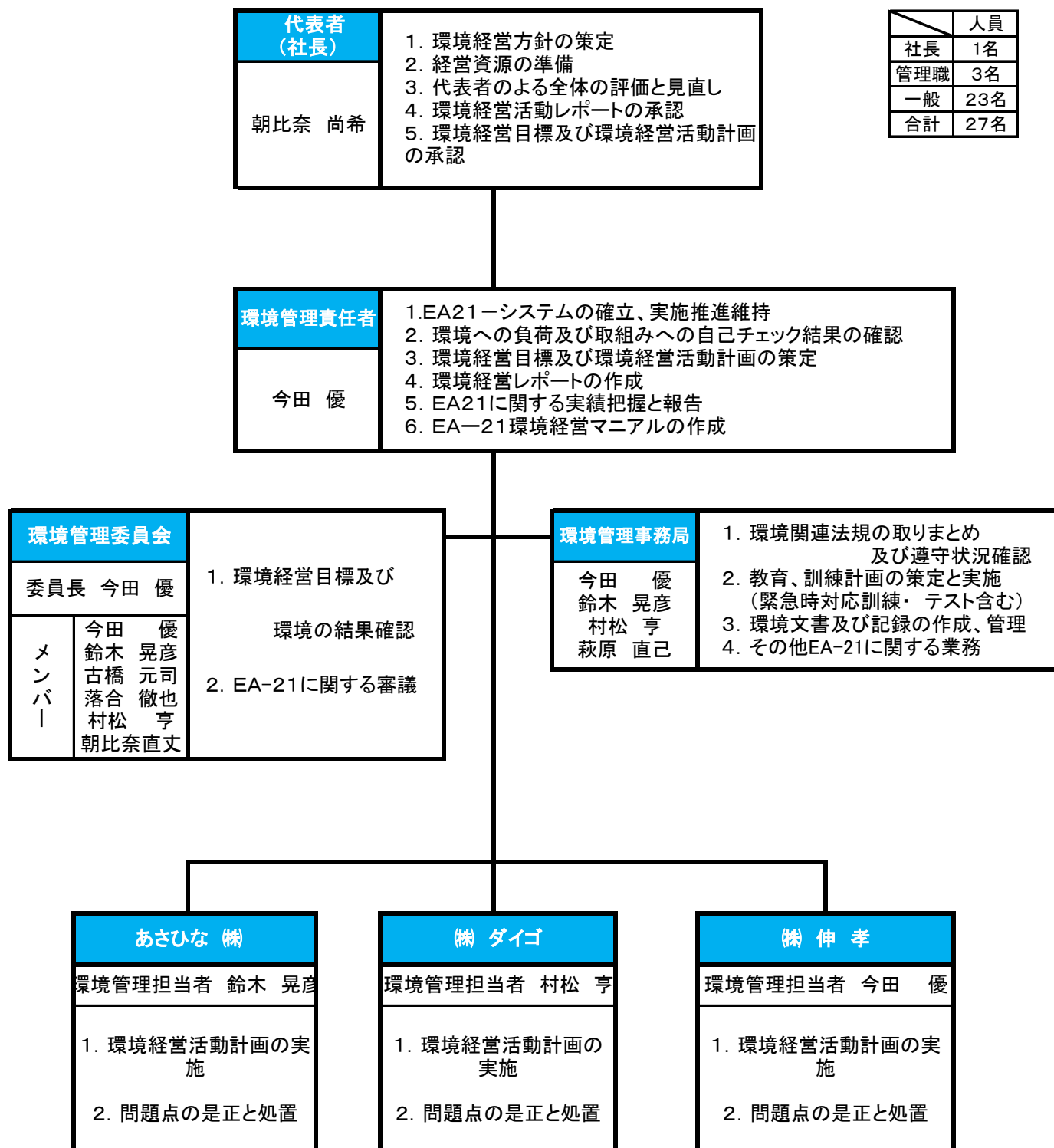


(各社の関係)
あさひなグループは あさひな(株)・(株)ダイゴ・(株)伸孝の3社で形成し、各社の得意分野で会社を運営しています。
また、経営者も3社とも同じでいろいろな面で協力しあう共同体で地域密着型の企業群です。

8. 推進組織図

制改定履歴	
制 定	2005年2月24日
最終改定	2021年5月01日

あさひな株式会社・株式会社 伸孝・株式会社 ダイゴ EA-21推進組織図



2. 環境経営方針

環境経営方針

《環境経営理念》

遠州の恵まれた自然環境の中に立地する当社は、主に輸送機器部品の梱包・包装事業及び輸送機器用部品の金属加工事業、及びFRPプール、土木資材・遊具の販売・組立を中心に地域産業と共に発展をめざしております。これらの事業を進めるにあたり、事業活動の環境に対する影響を評価し、重要な項目に関しては、技術的、経済的に可能な範囲で、社内の関連する部門及び階層において環境に配慮した活動を推進いたします。また、併せて売上向上につながる目標を設定することにより、目標達成の向上を目指します。特に、以下の項目については重点的に取り組みします。

《環境保全への行動指針》

1. 環境関連法規を遵守し、環境汚染の予防に努めます。
2. 環境負荷物質の低減に努めます。
3. リサイクル化を推進し、廃棄物の低減に努めます。
4. 環境に配慮した商品の提供及び購入に努めます。
5. 作業品質、作業能率の向上に努めます。
6. 環境経営の継続的な改善に努めます。

制定日： 2005年2月1日

改定日： 2020年2月1日

あさひな株式会社・株式会社伸孝・株式会社ダイゴ

代表取締役 朝比奈 尚希

3. 環境経営目標

我が社は、事業活動により発生する環境負荷量の変動が大きいことから、環境経営目標の設定方法として前年度実績を基準値とする「スライド方式」を採用しています。

取組項目			単位	会 社		基準値	目標値				
						2023年度 実績値	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	
							削減率：1%	削減率：2%	削減率：3%	削減率：4%	
エコ活動（継続活動）	CO2排出量の削減		kg-CO ₂	全社目標		146,327	144,864	143,401	141,937	140,474	
				あさひな		47,811	47,333	46,855	46,376	45,898	
				伸 孝		45,917	45,458	44,999	44,540	44,081	
				ダイゴ		52,599	52,073	51,547	51,021	50,495	
	廃棄物の削減		%	全社目標		95%	維持向上を目指す				
				再生利用率	あさひな		100%	維持向上を目指す			
					伸 孝		61%				
					ダイゴ		100%				
			t	全社目標		25.23	24.98	24.73	24.47	24.22	
				排出量	あさひな		16.00	15.84	15.68	15.52	15.36
					伸 孝		3.46	3.43	3.39	3.36	3.32
					ダイゴ		5.77	5.71	5.65	5.60	5.54
	上水使用量の削減		m ³	全社目標		137.0	135.6	134.3	132.9	131.5	
				あさひな		111.9	110.8	109.7	108.6	107.4	
				ダイゴ		25.1	24.8	24.6	24.3	24.1	
	化学物質使用量の削減			伸 孝		適正に管理	適正に管理する				
				ダイゴ		適正に管理	適正に管理する				
	グリーン商品の購入			全社目標		グリーン認定品を優先的に購入	グリーン認定品を優先的に購入する				
	社用車燃費向上	プロボックスG(事務所)	km/ℓ	あさひな		11.34	維持向上を目指す				
		プロボックスG(木材)				14.31					
		日野4tトラック(木材)				6.18					
		プロボックスG(GPC)				12.50					
		日野2tトラック(GPC)				8.00					
		プロボックスG(環境358)		伸 孝		16.10	維持向上を目指す				
		プロボックスG(環境4487)				15.24					
		バネットG(ボート)				11.24					
		三菱2tトラック		ダイゴ		5.84	維持向上を目指す				
出荷精度の向上		ppm	あさひな		28.6	維持向上を目指す					
グリーン商品の拡販		万円			2,404						
リサイクル商品の拡販		万円	伸 孝		837	維持向上を目指す					

<備考>

- CO₂排出量の実績及び目標は、あさひな本社、伸孝ボート事業部は中部電力排出係数 ”0.476”を、ダイゴ、あさひな木材事業部は鈴与商事排出係数”0.507” (H30.12.27公表)を使用しております。
- 化学物質については、取引先から種類、量の指示(仕様書)、及び支給品により、削減はできないため、数値的な目標値は設けず、化学物質の適正管理に努めるとしています。
- 伸孝については、環境景観事業部(静岡県周智郡森町谷中599)とボート事業部(静岡県浜松市中央区大島町708)の合計の値である。

4. 環境経営計画

推進項目		推進内容		責任者	日程	あさひな	伸孝	ダイゴ
エコ活動 (継続活動)	CO2の削減	電力使用量の削減	①冷暖房の温度管理 (28℃ & 20℃)	朝比奈	通期	○	○	○
			②設備、機器類の非稼働時の電源OFF実施	鈴木	通期	○	○	○
			③無人スペースの照明消灯	朝比奈	都度	○	○	○
			④休憩時の照明消灯	鈴木	都度	○	○	○
			⑤夏季クールビズ、冬季ウォームビズの実施	鈴木	通期		○	○
		化石燃料の削減	①エコドライブの周知徹底	今田	通期	○	○	○
			②タイヤ空気圧の定期確認	落合	通期	○	○	○
			③納品回数の低減 (積載効率向上)	古橋	通期	○		○
			④灯油使用量の管理	落合	通期		○	○
		太陽光発電	発電量の確認	萩原	通期		○	
	廃棄物の削減	①木屑のリサイクル推進		古橋	通期	○		
		②廃プラのリサイクル化		今田	通期	○		○
		③コピー用紙の両面使用		朝比奈	通期	○	○	○
		④ダンボール、オフィス古紙のリサイクル推進		鈴木	通期		○	○
		⑤金属くずのリサイクル化		今田	通期	○	○	○
	上水使用量の削減	①節水の励行		今田	通期	○	○	○
		②節水コマの設置による節水		鈴木	通期	○	○	○
		③漏水の定期確認		朝比奈	都度			○
	化学物質の管理徹底	①使用量の管理徹底		落合	都度		○	○
		②敷地外漏洩の防止		落合	都度		○	○
	グリーン購入の推奨	①再生紙コピー用紙の積極購入		鈴木	都度	○	○	○
		②再生材料から作られた製品の積極購入		鈴木	通年	○	○	○
	美化運動	敷地の草取り、ゴミ・空き缶拾い		鈴木	都度	○	○	○
課題改善活動	出荷精度の向上	ミス事例の横展開で意識向上をはかる		鈴木	通年	○		
	グリーン商品の拡販	リサイクル可能商品の販売及び開発		鈴木	通年	○		
	リサイクル商品の拡販	適正なリサイクル商品の選定と販売		今田	通年		○	

5. 実績と評価

(1)実績

取組項目		単位	会 社		2023年度 実績値	24年度の実績状況					
					基準値	目標値 (削減率:1%)	実績値	達成率	評価		
エコ活動 (継続活動)	CO ₂ 排出量の削減				全社目標	146,327	144,864	161,680	11.61%	×	
					あさひな	47,811	47,333	65,341	38.05%	×	
					伸 孝	45,917	45,458	43,006	-5.39%	○	
					ダイゴ	52,599	52,073	53,333	2.42%	△	
	廃棄物の削減		%		全社目標	95%	維持向上	93%		△	
					再生利用率	あさひな	100%	維持向上	100%		○
						伸 孝	61%		65%		○
						ダイゴ	100%		100%		○
			t		全社目標	25.23	24.98	17.04	-31.78%	○	
					排出量	あさひな	16.00	15.84	8.00	-49.49%	○
						伸 孝	3.46	3.43	3.45	0.72%	△
						ダイゴ	5.77	5.71	5.59	-2.14%	○
	上水使用量の削減		m ³		全社目標	137.0	135.6	133.9	-1.31%	○	
					あさひな	111.9	110.8	117.0	5.61%	△	
					ダイゴ	25.1	24.8	16.9	-32.19%	○	
	化学物質使用量の削減				伸 孝	適正に管理する	適正に管理	管理した		○	
					ダイゴ					○	
	グリーン商品の購入				全社目標	グリーン認定品を優先的に購入する	グリーン認定品を優先的に購入	購入した		○	
	社用車 燃費 向上	プロボックスG(事務所)	km/ℓ	あさひな		11.34	維持向上	12.49		○	
		プロボックスG(木材)				14.31		13.60		△	
		日野4tトラック(木材)				6.18		5.61		△	
		プロボックスG(GPC)				12.50		11.9		△	
		日野2tトラック(GPC)				8.00		8.20		○	
		プロボックスG(環境358)		伸 孝		16.10	維持向上	16.72		○	
		プロボックスG(環境4487)				15.24		14.95		△	
		バネットG(ボート)				11.24		11.39		○	
		三菱2tトラック		ダイゴ		5.84	維持向上	5.82		△	
出荷精度の向上		ppm	あさひな		28.6	維持向上	21.7		○		
グリーン商品の拡販	万円	2,404			2,715			○			
リサイクル商品の拡販		万円	伸 孝		837	維持向上	679		×		

＜備考＞

1. 評価 ○印:達成(100%以上), △印:ほぼ達成(99%～90%), ×:未達成(90%未満)
2. 削減率=[(実績値－目標値)／目標値]×100

(2) 評価

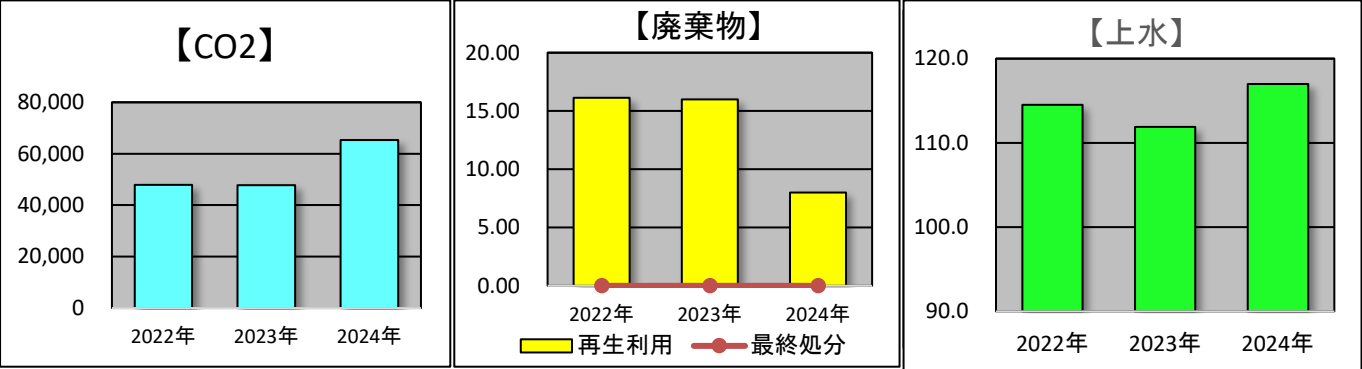
対象事業所	コメント
あさひな(株)	・CO2排出量は、労働環境改善(熱中症対策)のため包装センターに業務用エアコンを4台新しく設置した。 厳しい暑さの影響を受けフル稼働したため電気使用量が大幅に増えオーバーとなった。
	・廃棄物の再生利用は、100%を維持できた。排出量は目標に対して約半減。
	・上水使用量は、昨年比約5%増。特に、GPCでは仕事量増に伴い稼働時間が延長し顕著な増加。
	・社用車の燃費向上は、森事務所と木材のプロボックス及び木材のトラックが目標値オーバー。
(株)伸 孝	・CO2排出量の削減は、クリアできた。
	・廃棄物の再生率はやや向上したが、排出量がややオーバーし全体に影響した。(要因;ボート事業部の業績が好調で仕事量増加に伴い廃棄物も増えた)
	・公用車燃費は、環境景観のプロボックスのみ悪化。(要因;公用車古く経年劣化のため新車購入を検討) ・リサイクル商品の拡販が昨年値に約20%届かず
(株)ダイゴ	・CO2排出量は、昨年比、目標値に対してもオーバーした。
	・2tトラックの燃費が若干悪化した。(要因;公用トラックの経年劣化による悪化)

6. 実績結果の経年変化

過去3年間の環境負荷実績は下表の通りです。

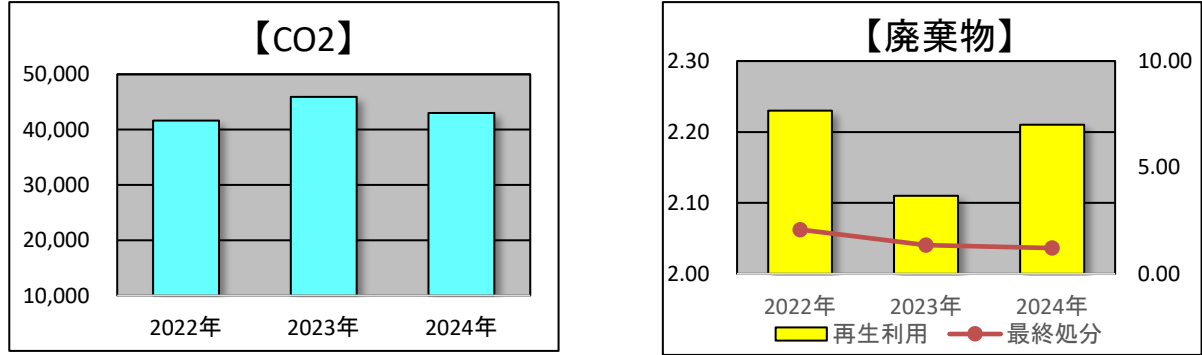
(1) あさひな(株)

No.	取組項目	単 位	2022年	2023年	2024年
	CO ₂ 排出量の削減	kg-CO ₂	47,906	47,811	65,341
廃棄物の削減	再生利用	t	16.12	16.00	8.00
	最終処分	kg	0.00	0.00	0.00
	上水使用量の削減	m ³	114.5	111.9	117.0



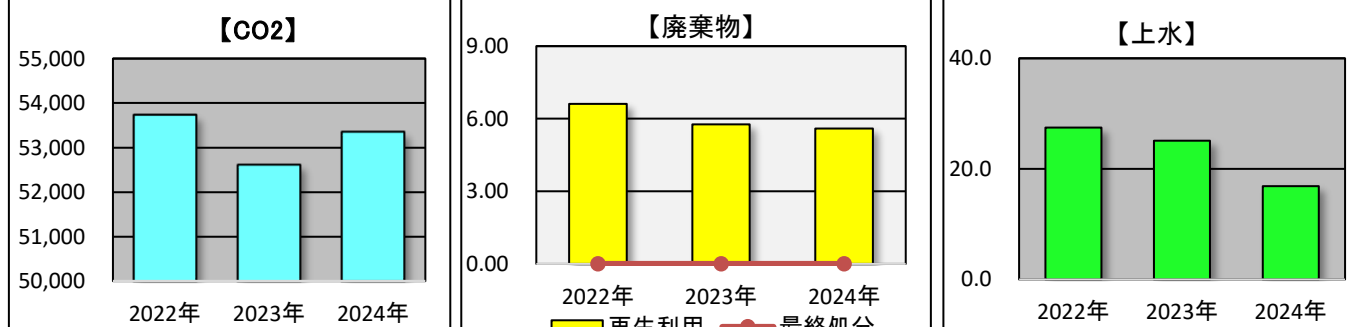
(2) 株伸孝

No.	取組項目	単 位	2022年	2023年	2024年
	CO ₂ 排出量の削減	kg-CO ₂	41,632	45,917	43,006
廃棄物の削減	再生利用	t	2.23	2.11	2.21
	最終処分	t	2.08	1.35	1.21
	上水使用量の削減	m ³	—	—	—



(3) 株ダイゴ

No.	取組項目	単 位	2022年	2023年	2024年
	CO ₂ 排出量の削減	kg-CO ₂	53,715	52,598	53,334
廃棄物の削減	再生利用	t	6.62	5.77	5.59
	最終処分	t	0	0	0.00
	上水使用量の削減	m ³	27.5	25.1	16.9

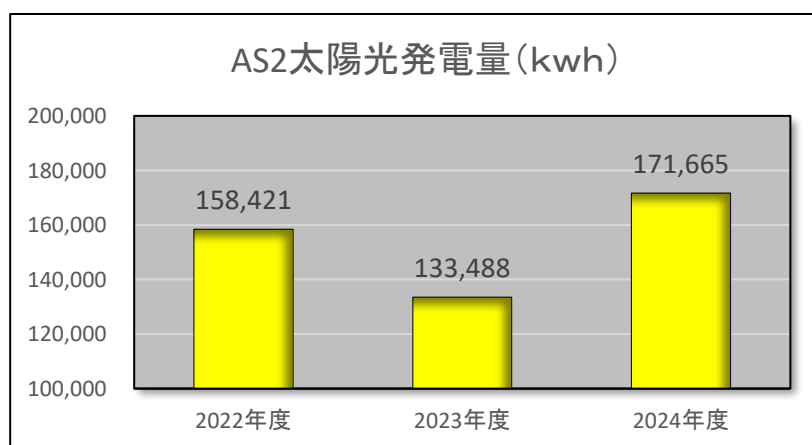


7. その他の取組結果

<太陽光発電量>

(株)伸孝

取組項目	単位	2022年度	2023年度	2024年度
AS2太陽光発電	kwh	158,421	133,488	171,665



2024.8.19 パワコンの設備環境を見直した。

数年前から落ち込んでいた発電・売電量が回復する兆し。

8. 次年度の環境経営計画

推進項目		推進内容		あさひな	伸孝	ダイゴ
エコ活動 (継続活動)	CO2の削減	電力使用量の削減	①冷暖房の温度管理 (28℃ & 20℃)	○	○	○
			②設備、機器類の非稼働時の電源OFF実施	○	○	○
			③無人スペースの照明消灯	○	○	○
			④休憩時の照明消灯	○	○	○
			⑤夏季クールビズ、冬季ウォームビズの実施	○	○	○
		化石燃料の削減	①エコドライブの周知徹底	○	○	○
			②タイヤ空気圧の定期確認	○	○	○
			③納品回数の低減 (積載効率向上)	○		○
			④灯油使用量の管理		○	○
		太陽光発電	発電量の確認		○	
	廃棄物の削減	①木屑のリサイクル推進	○			
		②廃プラのリサイクル化	○		○	
		③コピー用紙の両面使用	○	○	○	
		④ダンボール、オフィス古紙のリサイクル推進	○	○	○	
		⑤金属くずのリサイクル化	○	○	○	
	上水使用量の削減	①節水の励行	○	○	○	
		②節水コマの設置	○	○	○	
		③漏水の定期確認			○	
	化学物質の管理徹底	①使用量の管理徹底		○	○	
		②敷地外漏洩の防止		○	○	
	グリーン購入の推奨	①再生コピー用紙の積極購入	○	○	○	
		②再生材料から作られた製品の積極購入	○	○	○	
	美化運動	敷地の草取り、ゴミ・空き缶拾い	○	○	○	
課題改善活動	出荷精度の向上	教育訓練の重点取組	○			
	グリーン商品の拡販	グリーン商品の生産、購入、販売	○			
	リサイクル商品の拡販	リサイクル商品の選定及び販売		○		

9. 環境関連法規等の遵守状況並びに違反、訴訟の有無

1. 環境関連法規の遵守状況

当事業所に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

評価日：2025年4月20日
評価者：総務課長 萩原 直己

主な適用法規		担当部署	遵守状況
法令	廃棄物処理法	廃棄物の適正処理	全 社 遵守確認済
		外部委託処理業者との契約	
		廃棄物管理票の確認及び保管	
		廃棄物保管場所表示板の設置	
		委託先の実地確認とその記録の保存	
		マニフェスト交付状況の報告書提出	
	騒音規制法	特定施設の設置届け	ダイゴ・あさひな 遵守確認済
		規制値の遵守	
	振動規制法	特定施設の設置届け	ダイゴ・あさひな 遵守確認済
		規制値の遵守	
	消防法	危険物取扱者の選任	全 社 遵守確認済
		危険物貯蔵庫の設置届け	
		指定可燃物の貯蔵取扱届け	
	資源有効利用促進法 (改正リサイクル法)	使用済み物品・副産物の再生資源化	伸孝 遵守確認済
		現場発生ゴミの分別・リサイクル化促進	
県条例	フロン排出抑制法	業務用エアコンの自主点検	あさひな・伸孝 遵守確認済
	浄化槽法	清掃、定期点検、水質検査	ダイゴ・あさひな 遵守確認済
	静岡県生活環境の保全等に関する条例	騒音・振動特定施設の設置届け	ダイゴ・あさひな 遵守確認済
		事業者の産業廃棄物の実地の確認等	
	静岡県産業廃棄物の適正処理に関する条例	事業者の産業廃棄物管理責任者の設置	ダイゴ・あさひな 遵守確認済
		清掃、定期点検、水質検査	

2. 違反、訴訟等の有無

当社に関連する主な法規制は上表の通りである。関連法規制に遵守状況を毎年1回チェックしており、違反はありませんでした。また、関係機関からの訴訟及び近隣からの苦情も過去3年間ありませんでした。

10. 代表者による全体評価と見直し

作成日 2025年4月20日
作成者 萩原 直己

1・見直し関連情報	項 目		確認	
	1	エコアクション21文書	☒	記録・文書として作成しました。
	2	環境経営目標及び目標達成状況	☒	上水使用量以外は、改善が必要なため目標達成に向け継続的に取り組みます。
	3	環境経営計画及び取組実施状況	☒	活動の定着化とマンネリ化を防ぐ内容にします。
	4	環境関連法規要求一覧及び遵守状況	☒	法規の順守はできており、問題ないので維持します。
	5	外部コミュニケーション・対応記録	☒	苦情もなく問題ありません。
	6	問題点の是正・予防措置の実施状況	☒	
	7	取引先、業界、関係行政機関、その他の外部動向	☒	継続して取り組みます。
	8	その他()	☒	コロナ禍を脱却し、基本に立ち返り活動を続けていきます。

2・代表者による全体評価・見直し指示

我がグループの事業は、ヤマハ発動機(株)の景気動向の影響を非常に受ける。 あさひな(株)の部品事業部は、ヤマハ製品の修理部品のみを扱っており、アウトドアを楽しむ風潮も継続基調のため、仕事量及び売り上げともに好調に推移した。それに伴い、包装センターで労働環境改善のための新設したエアコンの稼働時間が延びたことによりCO2排出量が大きく増加した。来期は、計画的に削減対策を実施し今期を下回りたい。(株)伸孝のボート事業部においては停滞していた国内販売が回復したことにより、国内セッティングの作業量、売上とも伸びた。しかしながら、新規のFRPプール生産からの 撤退(2027年生産廃止)や(株)ダイゴのマリン関連の金属部品製造が、2025年7月以降に中国へ生産を移管される計画のため今後が懸念される。 ヤマハ発動機の動向としては、ロボテクス事業にも陰りが生じてきており、さらに、日本と米国、中国との関係が、政治・経済的関係の不安定であることから、 今後の先行きが より懸念を感じている。

一方、環境への貢献(環境に配慮した製品・サービスの開発・提供)策として、グリーン商品の拡販、エコ新商品の販売等に力を注いでいる。また、環境負荷の削減として営業車に使用するガソリンを 削減するために、エコドライブ実施の励行、さらにはハイブリット車への順次購入も検討していく。 近年は、社会的に環境に対処する要求が高まっていることから、SDGs等の動向にも注視している。

今回の取組は、対象期間が2024年2月から2025年1月の結果であるが、下記の点について見直す ことを指示した。

2025年4月20日

あさひなグループ

代表取締役 朝比奈 尚希

見直し項目		変更の 必要性	「有」の場合の指示事項等
1	環境経営方針	有・無	
2	環境経営目標	有・無	未達成になった要因を把握し目標の立て方を検討すること
3	環境経営計画	有・無	未達成の目標については環境経営計画を見直し手段を増やすこと
4	実施体制	有・無	
5	その他のシステム要素	有・無	
6	その他(外部への対応)	有・無	2019年度より2017年ガイドライン対応済み